

大学入学共通テストについて

【ご意見・ご要望】（投稿日：2019年7月4日）

大学入学共通テストの国語と数学の記述式問題について、その採点体制の不備等についての報道が相次いでおり、その公平性が疑われています。一方、京都大学の一般入試の個別学力検査においては既に記述式問題が導入されており、（内情を知らないので恐らくではありますが）本学教員による採点でそれなりの公平性が担保されていると考えられます。ゆえに、必ずしも大学入学共通テストの記述式問題を京都大学の入学試験の合否判定に使用する必要性はないと考えます。

また、2018年12月14日付「2021年度入学者選抜における変更について（予告）」では、「大学入学共通テストの国語の記述式問題の採点結果（段階別評価）を点数化し、マークシート式問題の点数と合算して国語の成績とします。」「その方法は、独立行政法人大学入試センターが段階別評価に関する内容を発表した後、検討のうえ公表します。」と述べられていますが、数学の記述式問題についての言及もなく、今後の検討の結果次第では公平な試験が行われないのではないかと懸念しております。

以上を踏まえ、場合によっては大学入学共通テストの一部を合否判定に使用しないことまでをも含めた、柔軟な検討をすることを表明していただきたく存じ上げます。ご検討、よろしくお願ひ申し上げます。

【回答】（回答日：2019年7月10日）

（教育推進・学生支援部入試企画課）

ご意見ありがとうございます。

本学の入学者選抜にふさわしい試験実施について、様々な角度から検討を進めて参ります。